

河川事業の再評価概要書

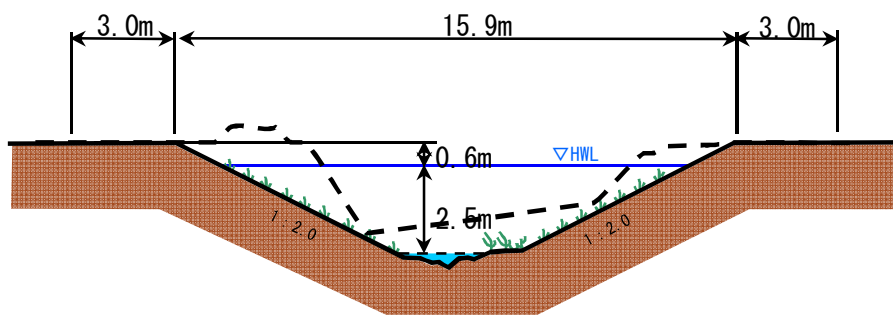
		番 号	112	
		事業主体	栃木県	
事業名	安全な川づくり事業		事業所管課	県土整備部 河川課
路線・河川名	一級河川 <small>たがわ</small> 田川		事業箇所名	<small>うつのみやし</small> 宇都宮市、 <small>にっこうし</small> 日光市
事業区間	<small>うつのみやしししなだ</small> 宇都宮市石那田地先～ <small>にっこうしまわだしま</small> 日光市木和田島地先		事業延長	8,300m
平成14年度事業化			平成14年度用地着手	平成15年度工事着手
事業期間	H14～H38	事業 進捗 状況	基準年次：【平成23年度末時点】	
[うち用地補償費] 全体事業費	[4.4億円] 21.3億円		[うち用地補償費] 既投資事業費	[2.6億円] 5.3億円
事業概要				
<p>田川は、日光市七里地先に源を発し、宇都宮市街地を流下し、上三川町、下野市、小山市を経て、茨城県結城市で鬼怒川に合流する一級河川である。</p> <p>計画区間は、屈曲が著しく、河川断面が狭小で流下能力が不足していることから、豪雨時には宅地や農地に浸水被害が生じている。</p> <p>そこで、河川断面の拡大、並びに遊水地の整備を行うことにより、氾濫を防止し浸水被害の解消を図る。</p>				
事業を巡る社会経済情勢等の変化				
計画区間では、県営圃場整備事業（田川沿線地区 A=67.4ha）がH15に完了した。				
事業の投資効果				
1 費用対効果分析結果				
		【総便益 (B)】	【総費用 (C)】	
(1) 事業全体	B/C=1.7	34.2億円	20.0億円	[L=8,300m 区間]
(2) 残事業	B/C=1.6	20.6億円	13.2億円	[L=2,200m 区間]
2 事業の整備効果等				
整備を図ることにより、宅地や農地の浸水被害が解消される。				
事業の進捗状況等				
1 事業の進捗状況				
事業延長8,300mのうち、宇都宮市と日光市の市境から新細内橋までの5,800mの暫定整備が完了している。				
2 今後の事業進捗の見込み				
今後の事業については、関係機関との調整を図りながら整備を進める。				
コスト縮減等				
1 コスト縮減方策				
河川工事で発生した土砂は、他事業へ流用し、工事費の縮減を図る。				
2 代替案立案等の可能性				
計画区間より下流の宇都宮市街地内において、川幅を広げることが困難な状況のもとでは、遊水地の整備により下流への負荷を抑制する現計画が妥当である。				
事業の対応方針（案）		現計画で事業を継続する。		

事業箇所(位置図、概要図)

位置図



標準断面図



概要図

計画流量	85m ³ /s
現況流下能力	概ね55m ³ /s

